早稲田大學東洋哲學會大會の御案内

拜啓　新緑の候、皆様におかれましては愈々御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、早稲田大學東洋哲學會第二十七回大會を、左記のとおり開催致しますので、なにとぞ御出席賜りますよう御案内申し上げます。

平成二十二年　五月七日

敬具

早稲田大學東洋哲學會

各位

記

早稲田大學東洋哲學會　第二十七回大會

〈日　時〉六月　十二日（土曜日）　午前十一時より

〈會　場〉早稲田大學文學部　三十三―二號館二階　第一會議室

※　校舎建て替え中の爲、スロープ右の假設校舎での開催となります。

〈プログラム〉

○研究發表（午前十一時より）

一、後期大乘佛教における因果論に關する一考察　　早稲田大學大學院博士後期課程　佐藤　晃

一、『玄覽人鳥山經圖』の成立について　　早稲田大學大學院博士後期課程　王　皓月

○研究發表（午後一時三十分より）

一、司馬光の「心」について　―佛教（禪）觀との關係から―　　早稲田大學大學院博士後期課程　田村　有見惠

一、王安石の思想における「神」の意義について　　早稲田大學大學院博士後期課程　梶田　祥嗣

一、懈慢界の源流と展開　　龍谷大学講師　高田　文英

一、李塙の立場　―顔李學派の再考のために―　　國際日本文化研究センター・總合研究大學院大學教授　伊東　貴之

○講　演（午後四時より）

一、ペドロ　ゴメズの『講義要綱』の和譯（一五九五年）と日本の宗教　　フランス極東學院教授　ジラール・フレデリック

○總　會（午後五時より）

○懇　親　會（午後六時より）

會　場　第一會議室

會　費　三〇〇〇圓

【追　記】

※　大會當日の御連絡は、文學學術院教員室（電話　〇三―三二〇三―四一一三）まで、御傳言願います。